

イカナゴ情報（2006年5月）

平成 18 年 5 月 19 日、稚内水産試験場資源管理部、Tel 0162-32-7166

宗谷海峡東方海域のイカナゴの資源水準（図1）と2006年5月15～17日試験調査船北洋丸で実施したイカナゴ漁場における海洋観測結果（図2～6）について報告します。

- ・ 昨年のトロール漁業の CPUE は、ここ 3 年間増加しているものの、過去 20 年間の平均値と比べると、まだ低水準と判断されました。
- ・ 宗谷岬沖からオホーツク海沿岸部の水深 70 m 付近までは 5～8 で、低温であった昨年 5 月と比べて 2～3 高くなっていました。イカナゴ漁場のポケット海域（769 海区）の底層水温は 6 でした。
- ・ しかし、より深い沖合海域では、水深 100 m 等深線に沿って、0～マイナス水温の中冷水が海底近くまで広がっており、イカナゴ漁場の 769 海区の東側の 770 海区の 30 m 層まで沖合の冷水の張り出しが見られました。

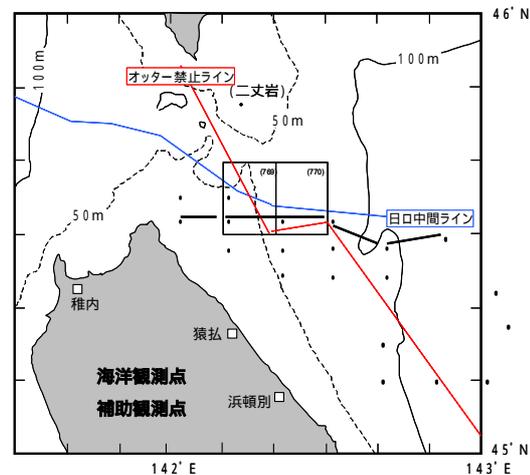
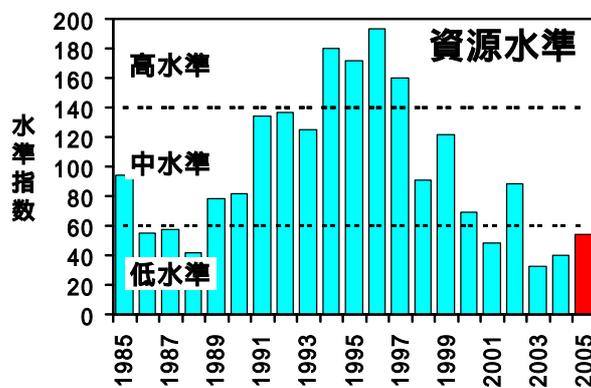


図1 宗谷海峡東方海域のイカナゴの資源水準（トロール漁業の CPUE について 1985～2004年の平均値を100とした場合100±40の範囲を中水準とする）

図2 2006年5月15～17日、北洋丸によるイカナゴ漁場海洋観測調査点図

図3 10m層水温
 ポケット海域（769 海区）
 の水温は6 台、770 海区
 には沖からの2 台の冷水の
 張り出しがみられました。

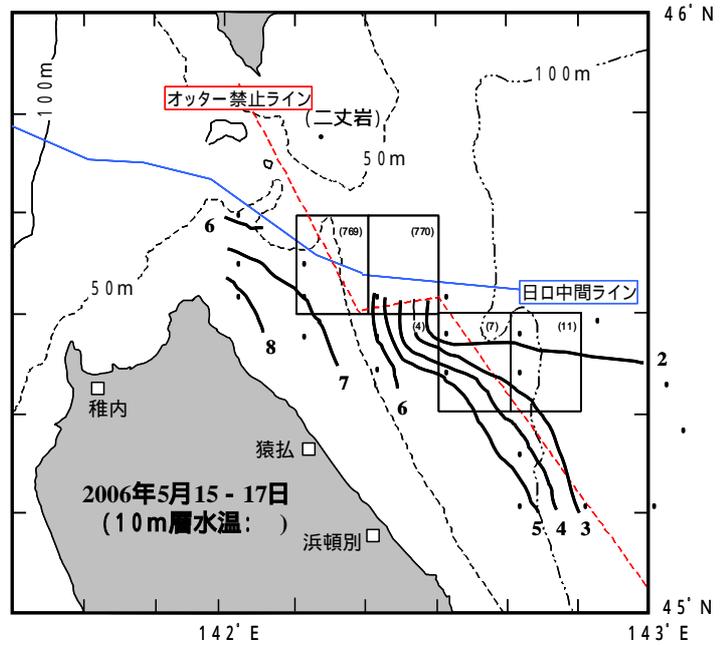


図4 30m層水温
 ポケット海域（769 海区）
 の水温は6 台、水深 100m
 等深線の沖にはマイナス水温
 の中冷水が存在していました。

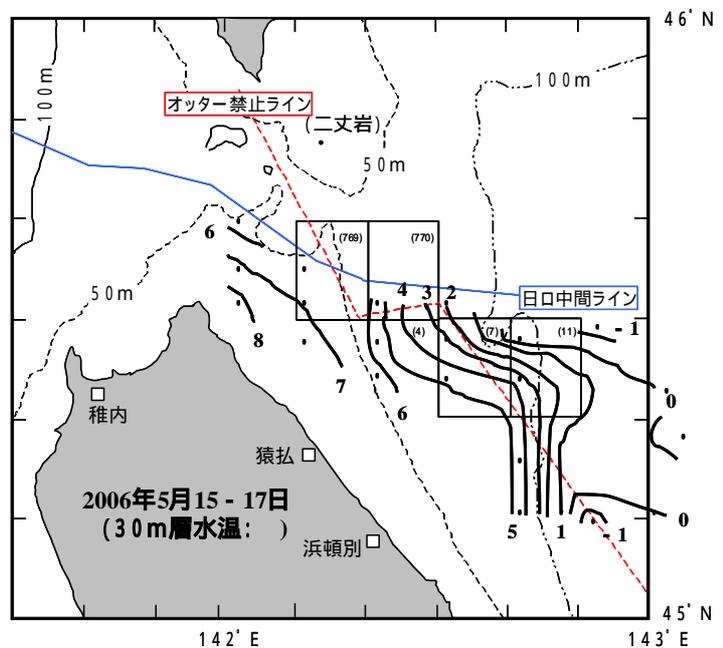
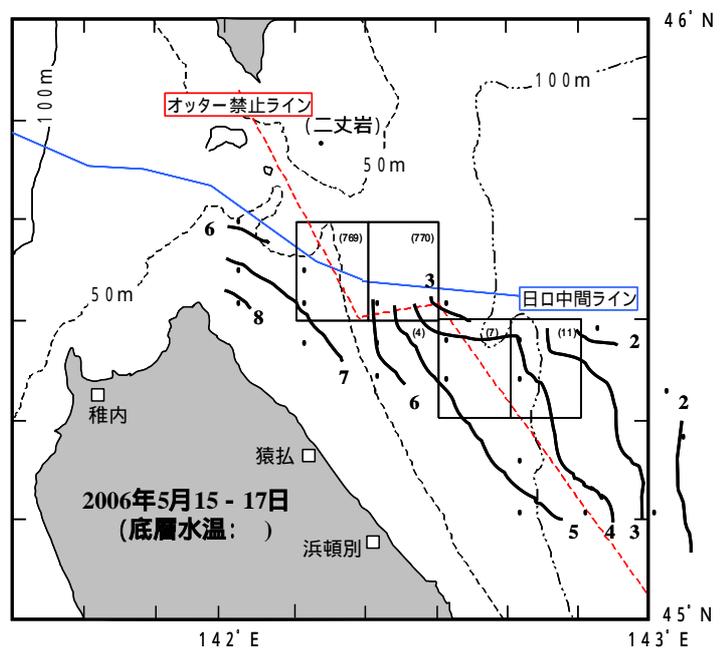


図5 底層水温
 ポケット海域（769 海区）
 の水温は6 台、今年の
 同時期の調査と比べて2
 程度高い状況でした。



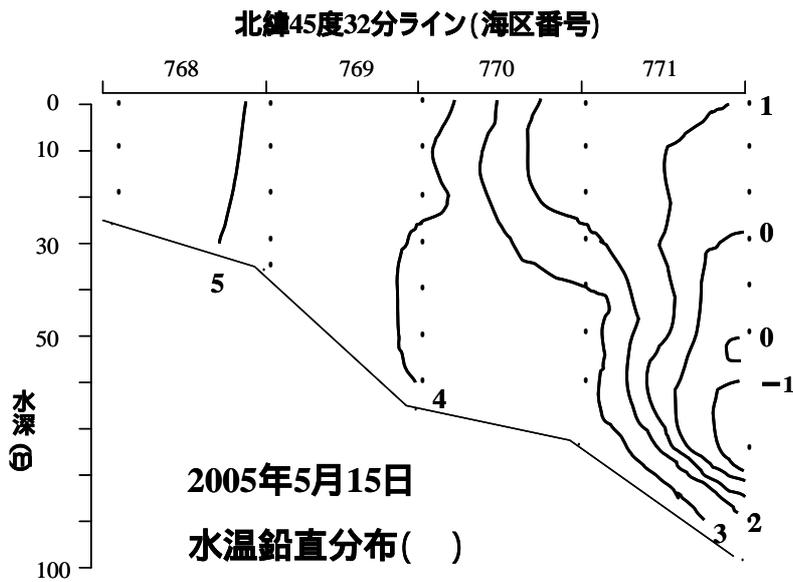
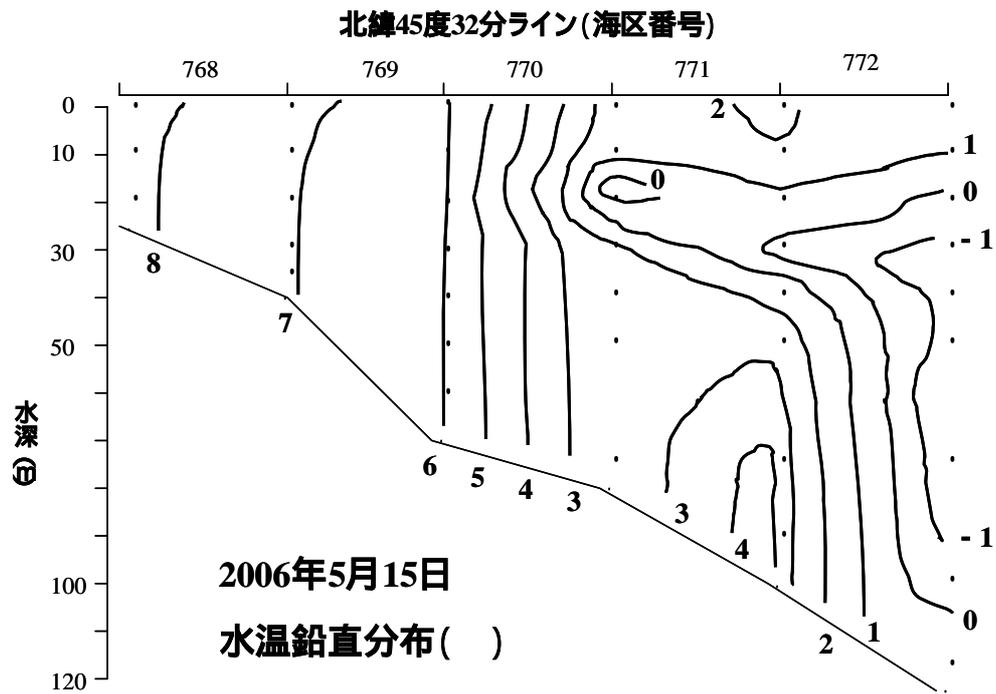


図6 イカナゴ漁場(769海区)を含む、北緯45度32分ラインの水温鉛直分布
(上:2006年5月15日、下:2005年5月15日)

昨年と比べてイカナゴ漁場の水温は2 程度高い状況でした。